



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

北朝鮮のミサイルによる挑発行為が北東アジアの地政学的不安を高め、米国の軍事外交ビヘイビアを活発化させたことと仏大統領選が重なって、世界のマーケットはリスク警戒ムードが高まっていましたが、仏選挙はとりあえず親EUのマクロン氏勝利の可能性が高まったことでトレンドが反転して、株式市場は欧州市場で急反発、米ナスダックが最高値更新、そして日本株市場も下落幅を解消してGW入りしました。

世界経済はIMFが2017年見通しで世界全体の成長率を引き上げて、経済ファンダメンタルズの転換点に在る旨のポジティブなコメントを出すなど、成長基調回復の兆しを強めており、とりわけ米国経済の底堅さが日本・欧州の先進国経済にも追い風の環境をもたらしています。

加えて中国経済が財政投入効果で需要回復を見せたこともあって、エネルギー価格の安定と共にハイテク製品の需給も好転、グローバリゼーションの好循環を取り戻しつつあると感じられます。

米国経済は企業業績も堅調で、完全雇用と共に物価上昇率も2%を超えて来ていることから、年間を通じて利上げ傾向と長期金利上昇基調が保たれるとすると、トランプ大統領の口先介入があろうとドル高トレンドの安定方向を前提に為替を考えるべきであり、不確実性を除けば株式市場は世界全体に価格水準を上振れさせる条件を整えて来ていると言えるでしょう。

しかし相変わらず北朝鮮の暴発リスクで世界的影響につながる有事警戒モードを緩められず、またEUでは英国の離脱交渉本格化が次なる相場変動要因であることに変わりありません。不確実性の高まりは即ちリスクの増大ですが、それを長期的に克服して果実にするための国際分散ポートフォリオが「セゾン号」の根本ポリシーであり真骨頂です。

短期的ノイズに動じることなく、地球経済の長期安定成長軌道をしっかり捉えた運用を堅持しております。「長期・積立・国際分散」投資がますます有効性を発揮するはずです！

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

4月の市場動向

株式：【国際情勢の不安定化への警戒が高まり途中まで軟調に推移したものの、終盤に落ち着きを取り戻して上昇】

途中まで景気の先行きに対する楽観的な見方が後退するなかで、中東情勢や北朝鮮情勢を巡る警戒が高まったほか、フランスの大統領選挙を控えて欧州でも政治的混乱への警戒が高まり軟調に推移したものの、終盤には警戒が和らいで上昇しました。

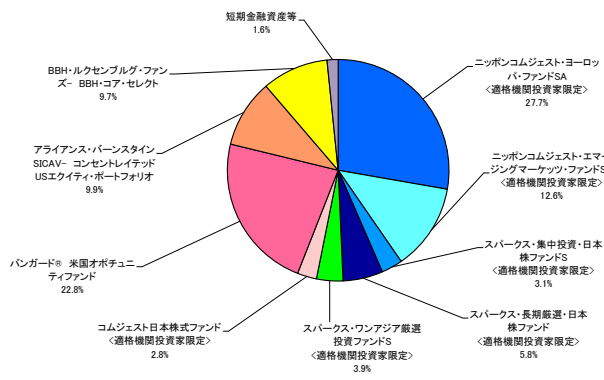
為替：【ユーロが上昇し、ドルがやや軟調。円は途中まで上昇したものの終盤に下落し、対ドルでほぼ変わらず、対ユーロで円安】

米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退してドルが軟調な展開となる一方、ユーロは終盤、政治的な混乱への懸念が後退したことを受けて上昇しました。円は途中までリスクを回避する動きが強まるなかで上昇しましたが、終盤には警戒が和らいだことを受けて反落しました。

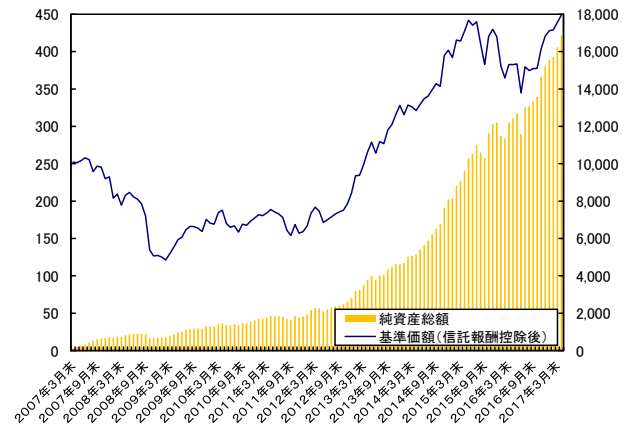
基準価額と純資産総額及び騰落率（2017年4月28日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
17,962円	421.5億円	+79.62%	+2.33%	+18.88%	+17.30%

資産配分状況(2017年4月28日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



4月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、BBH コア・セレクト・ファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、コムジェスト日本株式ファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から若干低下し、月末時点で1.6%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

新たな情報がもたらされる度に金融市場は変動しますが、短期的な動きは本質的な価値よりも投資家の近い将来に対する見方やリスクに対する意識に大きく影響を受けており、一時的な要因で価格が下落した資産は、本質的な価値を重視する投資家にとって、相対的に魅力的な投資対象となることがあります。一方で、投資家の心理的な影響を大きく受けることから、短期的な価格の動きを予測することは難しく、当ファンドでは価格の予想は行わず、長期的な視点で幅広い投資機会を活用することを重視しながら、為替レートの影響を含めて相対的な割安感が強まったファンドを中心に購入を行っております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆さまの長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）